

第6回 交流リーグ 実施要項

目 的

普段、練習試合に利用しているグラウンドを提供していただくことで、各種リーグに加盟するよりも金銭的な負担を出来るだけ軽くし、真剣なサッカー、緊張感ある試合をすることを目的とする。参加チームがそれぞれにチーム力のアップを図り、交流を深めることを最大の目的とする。

1. 試合方式

4時間グラウンドが取れた時に3チームが集まり巴戦を実施。

9チームによる2回戦総当りの各チーム合計16試合。

勝点方式（勝：3、負：0、分：1）

最終順位は勝点による。ただし、勝点と同点の場合は得失差、得失差も同点の場合は総得点、総得点も同点の場合、1位と2位は決定戦を、それ以外の場合は当該チームの勝敗によるものとする。

2. 試合時間

基本は25分を2本。（萩谷・陸上競技場は20分とする）

各チームの体調・体力面を考慮し、前半3本・後半3本方式。

ただし、グラウンドの借用時間の関係で25分取れない場合はグラウンド担当チームと主審の判断により、20分に短縮してもよい。

ロスタイムは主審の判断でグラウンドの借用時間を考慮し、1～2分程度取っても構わないこととする。

3. 選手管理・選手交代

事前に全選手の登録をする。

追加登録・抹消は、毎月末を締め切りとし、翌月の試合から出場できる。

試合開始整列時点で、8名未満の場合は不戦敗となり休憩チームより不足人数を借りて練習試合をすること。

この場合、スコアは5 - 0、勝点 - 3とする。

助っ人は常時3名まで試合に出場ができる。

助っ人使用人数により、フェアプレー・マナー賞の減点ポイントを加算する。

助っ人1人につき、-1ポイント

4 . 体験参加枠

助っ人枠とは別に体験参加枠を設ける。
ただし、以下の条件に限る。

正規メンバーが 11 名以上揃っていること
同時に試合に出場できるのは常時 3 名まで
同一人が体験参加枠で出場できるのは、2 開催日（2 節分）までとする
正規メンバーと同じ背番号付きのユニホームを着用すること

5 . ユニホーム

最低限上着のみ統一すること。（同色で背番号付に限る）
G K は番号無しでも可（フィールド選手と異色のウェア）

6 . グランド

各チームグラウンド確保に尽力いただくこと。
グラウンドがないとサッカーができません。
自チームで確保のプロセスのない場合は、5 名以上オーパスに登録すること。

グラウンド代は当該 3 チームで当日精算する。
グラウンド取得チームが 20%、その他の 2 チームがそれぞれ 40% ずつ負担することとする。

グラウンドの作成はグラウンド取得チーム（G 担当）の指示のもとで行うこととする。
基本は第 1 試合審判担当チームがライン引き、第 1 試合 2 チームがゴール及びネットをそれぞれ準備する。状況により全チーム協力して行い、少しでも早く試合が開始できるようにして下さい。
試合終了後、3 チームの代表者が集まり、記録の確認とともに、その日の反省会を実施すること。

7 . 審判

休憩チームが審判担当となる。
主審・副審 2 名・予備審の 4 名をチームの責任のもと選任し輩出する。
主審のみ前半・後半を一人で行うことが望ましいが、体力面・体調面を考慮し、予備審と交代してもよいこととする。
スパイク・レガースの確認は整列時ないし、試合中に主審および副審が行い、不完全な選手がいれば、その都度、ピッチの外に出させて改善させること。（時間短縮のため）

記録内容は、対戦カード・スコア・得点者・アシスト者・警告退場者
その他報告事項があれば。

服装は主審のみ審判服（上着のみで可）を着用し、ホイッスル、カード、フラッグ
を準備する。副審は試合チームのユニホームと別色の上着を着用すること。

予備審は、助っ人枠3名と体験参加枠3名の管理をしっかりとして下さい。

助っ人および体験参加はそれぞれ常時3名以内となります。試合開始時、交代時に
3人枠の確認を徹底していただくようお願いいたします。

予備審はハーフウェイラインの延長線上に待機し、助っ人枠、体験参加枠の管理、
交代時のチェック、予備試合球の管理などを行って下さい。

判定基準は基本的に国際サッカー連盟の競技規則に基づき行う。

警告退場の処分に関しては以下の通り

同日の同一の対戦カードにおいて、2回目の警告で退場となり、当日のその試合
には出場できない。

一発退場の場合は、その時点から当日のその試合には出場できない。

上記　　とも同日の別カードには出場可能

上記　　とも次節出場停止

その他は実行委員会で判断し処分を下すこととする。

7.表彰

各チームより参加費を1万集め、以下の通り分配する。

優勝　2万

2位　1万

3位　5千

得点王　5千

アシスト王　5千

最優秀フェアプレー・マナーチーム賞　2万*

優秀フェアプレー・マナーチーム賞　1万*

最優秀グラウンド取得協力賞　1万*

優秀グラウンド取得協力賞　5千*

*上記、フェアプレー・マナーチーム賞とグラウンド取得協力賞は、
別記記載のポイントにより決定する。

【別表1 フェアプレー・マナー賞 ポイント表】

暴言・侮辱・異議が原因で試合を荒れさせた	-5
ルール理解度の乏しい審判の輩出	-5
レッドカード	-10
イエローカード	-3
1試合で2枚目のイエローによる退場	-5
遅刻(20分前に最低5名以上)*	-1
予備ボールの管理など(主審と第4審判の連携)	-1
試合開始前にメンバー表を提出できたか	-1
終了時点のリーグ会議にて書類完成していたか	-1
試合前日・試合当日の棄権	-20
忘れ物(ユニ不揃い、審判グッズ、書類)*	-1
ゴミ、たばこの吸殻の放置*	-1
人数不足(不足人数ごとに)*	-1
審判をじゃんけんで決める*	-1
ユニホームが不揃いだったか	-1
グラウンドキャンセル期限後の日程変更	-5
その他、マナーを逸する行為**	?

*試合後の反省会にて指摘し当該チームに確認して下さい

**反省会にて指摘し確認後、実行委員会にて決定します

【別表2 グラウンド取得協力賞 ポイント表】

舞洲競技場 芝	5
萩谷サッカー場・高槻陸上競技場	4
南津守サッカー場	4
上記以外の芝およびロングパイル人工芝グラウンド	4
鳥飼人工芝・淀川スタジアム	2
大泉緑地・服部緑地・深北緑地・久宝寺緑地	2
浜寺公園	1
淀川河川 赤川グラウンド*	1
舞洲西クレーグラウンド	2
舞洲 ABCDグラウンド、第2グラウンド	1
その他、クレーグラウンド	1

*淀川河川敷のクレーコートは、赤川Gのみ使用OKとします

【別表3 最終勝点減点表】

フェアプレー・マナー賞ポイント 累積10	-1
その後、累積10毎に	-1

試合当日 実施要項

1. 集 合

グラウンド借用開始の20分前とする。

グラウンド準備に最低5名が揃っており、積極的にグラウンド作成すること。

遅れる場合は、当日のグラウンド担当チームの代表に電話すること。

雨天等で中止の場合は、グラウンド取得チームから当日試合の代表者に電話連絡すること。

つながらない場合は、留守電ないしメール送信し、その旨、実行委員会まで連絡して下さい。

2. グラウンド準備

G取得チーム（G担当チーム）の指示により、第1試合審判担当チームがライン引き、残りの2チームでゴールを準備。（ネットも）

3. 試合時間

グラウンドにより、試合開始時間がバラバラになると思いますが、下記を目安に進行をして下さい。

第1試合	9 : 20 ~ 9 : 45	13 : 20 ~ 13 : 45
第2試合	9 : 55 ~ 10 : 20	13 : 55 ~ 14 : 20
第3試合	10 : 30 ~ 10 : 55	14 : 30 ~ 14 : 55
第4試合	11 : 10 ~ 11 : 35	15 : 10 ~ 15 : 35
第5試合	11 : 45 ~ 12 : 10	15 : 45 ~ 16 : 10
第6試合	12 : 20 ~ 12 : 45	16 : 20 ~ 16 : 45

4. 審判・試合結果

大会実施要項の審判欄を遵守いただくよう、よろしくお願ひします。

試合開始から試合終了まで主審（審判担当チーム）が責任を持って管理すること。

試合結果は当日グラウンド担当チームが取りまとめ、実行委員会まで報告のこと。

5. メンバー表

各チーム、交流リーグのホームページから自チームの最新のメンバー表を2部印刷して持って行き、当日相手チームとメンバー表の交換をする。

6. 試合終了後の代表者と審判によるミーティング

全試合が終了後、各チームの代表者が集まり、試合結果の確認とその日の反省会を実施し、今後の運営につなげていくこと。なお、その試合結果ならびに反省会での案件を実行委員会まで報告する。

【必要書類】

メンバー表、審判報告書：参加3チームともすべて

試合結果報告書：G責任チーム

審判について

草サッカーにおける審判の運営は永遠の課題です。
楽しいサッカーをするためには、選手自身の自覚は当然ですが、審判のレベルを上げるしかありません。

審判をするうえで求めることは、難しいことではありません。

審判をイヤイヤやらない。

最低限サッカーのルールを熟知している。

審判服を着用する。(用具を揃える) コイントスをじゃんけんでやらない!

下記の内容できっちりとカードが出せる。

警告対象

- ・ 審判の判定に異議を言う。
- ・ フリーキック等のセットプレーの再開を遅らせる。(ボールの前に立って邪魔をしたり、セットしたボールを蹴る、または笛が鳴った後でプレーを続けるなど)
- ・ 後方からの危険なチャージ。(スライディングによるものは退場対象)
- ・ 審判の許可なしにピッチを離れるまたは入る。
- ・ ゴールキック等のセットプレーを始めない。(遅延行為)
- ・ 相手選手に文句を言う。
- ・ その他、主審・副審の判断で警告となる行為。

退場対象

- ・ 審判や相手選手に暴力をはたらく。
- ・ 後方からの危険なスライディングタックル。
- ・ 得点機を逸する故意のハンドやタックル。
- ・ 何度も同じ反則を繰り返す。
- ・ その他、主審・副審の判断で退場となる行為